

# ほけんだより 2月

愛川町立菅原小学校  
令和5年2月7日発行  
養護教諭

## 性に関する指導 特別号

1月の保健だよりでお知らせしていた通り、全学年で「性に関する指導」を行いました。  
2・4・6年生は養護教諭が、1・3・5年生は担任が、それぞれ発達の段階に応じて指導しました。児童の感想等も交えながら、簡潔に内容をご紹介します。

### 1年生 からだはたからもの

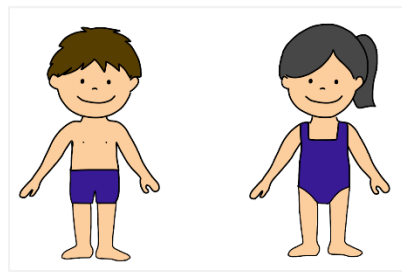
1年生では、「プライベートゾーン」について、学習しました。

#### ○をつけてみよう

からだのなかで、  
「さわられたくないところ」  
「みられたくないところ」

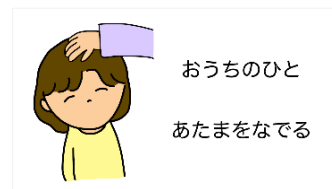
嫌だと思えるところは一人一人ちがうね。  
その人が嫌だと思ったら、その人だけの大切な場所！

水着でかかれるところは「プライベートゾーン」といいます。  
「自分だけの場所」という意味だよ。



4つの約束…見ない、見せない、さわらない、さわらせない

#### いいタッチかな？わるいタッチかな？



おうちのひと  
あたまをなでる

うれしい気持ちになるから  
いいタッチだと思う！



おうちのひと  
プライベートゾーンを  
さわる

ダメだと思う！  
でも、必要な時もある！



ともだち  
スカートめくり

ぜったいダメ～！  
いやだよ、恥ずかしい！

「みんなのからだはたからもの。プライベートゾーン以外の場所も、全部大切だよ。自分の体も、友だちの体も大切にしようね。」ということをお伝えしました。また、防犯の話にも繋げ、知らない人に触られるなどしたら、「さけぶ」「にげる」「(安心して人に)話す」ことをお伝えしました。

### 2年生 みんな大切なのち

2年生では、「おなかの中にあるいのち」について、学習しました。

お母さんの  
おなかの中！



いのちは、生まれる前から始まっているよ。

いのちの始まりの大きさは、画用紙に針で刺した穴のサイズ！とっても小さいね。

#### おなかの中にあるいのちがあるとき

①お母さんはどんな気持ちかな？どんなことが大変かな？

おうちの方からの  
手紙を紹介しました

— “お腹が大きくて、歩くのが大変でした。” “体を冷やさないように気をつけました。”  
“お腹の中にいた10ヶ月の間、元気に育ててくれてありがとう”

②周りの人はどんなことができるかな？

— 「転ばないように手を繋いであげる！」 「席をゆする！」 「お手伝いをしてママを休ませる」  
おなかの中にいる時から、たくさんの人が関わり、生まれてくるのを待ち望んでいたんだね。

児童の感想

- ・いのちのはじまりはすごく小さいことがわかった。
- ・おかあさんが私を大切に育ててくれて嬉しかった。私もママのもとに生まれてきて良かった。
- ・自分のことをもっとだいにしようと思った。

### 3年生 どこがちがう？男女の体

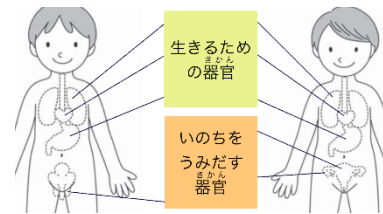
3年生では、「男女のちがい」について、学習しました。



男かな?? 女かな??

ランドセルが黒だから男?

料理してるから女の人っぽい?



男女の違いは、体のつくり。

「生きるための器官」には、男女で違いがないけれど、  
「命を生み出す器官」には、男女で違いがあるよ。

さらに、1年生で学ぶプライベートゾーンについて、「体の発達」や「命を生み出す」という部分をふまえながら、改めて確認しました。また、たとえば家族であっても「必要のないとき」にプライベートゾーンを見られたり触られたりしたら、「嫌だ」と言ってよいことをお伝えしました。

## 4年生 赤ちゃんと大人とわたし

▶ 4年生では、「体と心の発達」について、学習しました。



洋服で成長を実感！

— 私たち（9-10才）は、赤ちゃん（0才）と大人（18才）の狭間の時期。もう大人へ一歩近づいている！

今年から「成人」の年齢が変わったね。

赤ちゃんと大人で、どんなところが変わるかな？

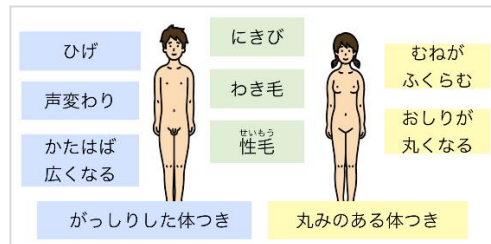
— 「自分のことは自分でできるように」「体つき」「声が低くなる」

これらの変化は、ある日突然起こるのではなく、今から少しずつ変わっていきます。

心と体の変化の時期  
“思春期”

体の外側の変化と、内側の変化（初経、精通）を確認

これらの変化が体の中で始まったら、いのちを作る準備が始まったということ！



～今の自分なら、どうするかな？～

同じもので遊びたい時、小さい頃は取り合っていたけれど、今の自分なら「ゆずる」「時間を決める」「一緒に遊ぶ」

▶ 「大人に近づくには、体だけでなく心も成長する必要がある」ことを伝えました。

## 6年生 にじいろの私たち

▶ 6年生では、「多様な性のあり方」について、学習しました。

先生は女性？男性？

ほとんどの児童は「女性」に手をあげ、「わからない・その他」と答えた児童に対しては笑い声も…

「人の性は見た目ではわからないよ」という児童の発言に、笑い声はなくなります。

性のあり方は、「体の性」「心の性」「好きになる性」「表現する性」の、4つ要素の組み合わせで決まる。

これらの性は、「男」「女」とははっきり分かれているのではなく、グラデーションになっているよ。



“心の中”で自分の性のあり方を見つける時間。きっと一人一人違っているね。



## 5年生 わたしは奇跡、あなたも奇跡

▶ 5年生では、「生命誕生の確率」について、学習しました。

いのちの始まりは、受精卵

精子と卵子が会うことで出来るのよね。

理科の授業の復習です。

精子と卵子が会う確率はどのくらい？

なんと、3億分の1の確率!!! (卵子の数をふまえたら1200兆分の1の確率)

DVDで確認

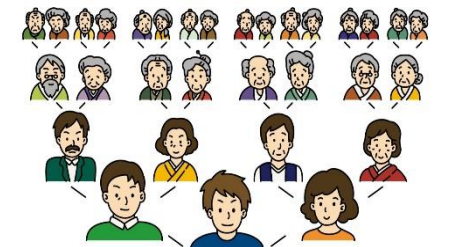
精子は多くの困難をのりこえて、3億の中のたった「1つ」だけが卵子と会うことができるんだよ。

いのち是谁から受け継がれているのだろうか。

一家系図を描いてたどっていくと…

数え切れない数の先祖がいる！

たくさんの「いのちのバトン」が引き継がれてきたんだね。



▶ 「わたしたちはこの世にたった1人の、奇跡的な存在。」

自分のいのちも、周りの人のいのちも、大切にしようね。」ということを伝えました。

▶ 児童の感想

- 命はとても大切だなと思った。親に感謝したい気持ちになった。
- 奇跡の積み重ねでいまここにいるから、大切にしなければならない。
- もし、ご先祖の誰かが死んでいたら私はいなかったということが分かった。

セクシュアリティ（性のあり方）には、名前がついているもあるよ。

- シスジェンダー（心と体に違和感がない）
- ヘテロセクシャル（異性愛）
- LGBTQ+ などなど

性的マイノリティの人々の生活は、快適？不便？

—「快適。今の自分に納得しているから」「不便。人に言えないで我慢しているかもしれないから」

▶ LGBTの象徴であるレインボーフラッグ  をとりあげ、「どの色であっても、それが自分らしさなのだから、胸を張って生きてよいこと」「それぞれの違いを認め合うこと」を伝えました。

▶ 児童の感想

- 様々な性があり、一人ひとり違うことがわかった。私は誰が誰を好きになってもいいと思う。
- 世の中には2つの性しかないと思っていたけど、他にもいろいろな性があることを知れた。
- 自分はぬいぐるみが好きで女の子っぽいかと悩んでいたけど、気にしなくていいんだと思えた。
- 他の人の性のあり方を否定しないことがとても大事だと思った。